

# よしかわ 議会だより

NO.167  
平成27年11月1日



発行：吉川市議会  
編集：吉川市議会広報委員会  
〒342-8501 吉川市吉川二丁目1番地1  
TEL & FAX (982) 9421  
http://www.city.yoshikawa.saitama.jp



「吉川市史 通史編1」(8ページに写真説明があります。)

## 平成26年度決算を認定 平成27年度9月補正予算を可決

### 9月定例会の概要

9月定例会は、9月2日から9月25日までの24日間にわたり開催されました。

市長提出議案26件は、すべて原案のとおり可決・認定・同意しました。委員会提出議案は1件を上程し可決、議員提出議案は3件を上程し、すべて可決しました。

また、3日間を通し行われた、「市政に対する一般質問」では、18人の議員が市政全般にわたり市の見解をいただきました。

### 市長提出議案

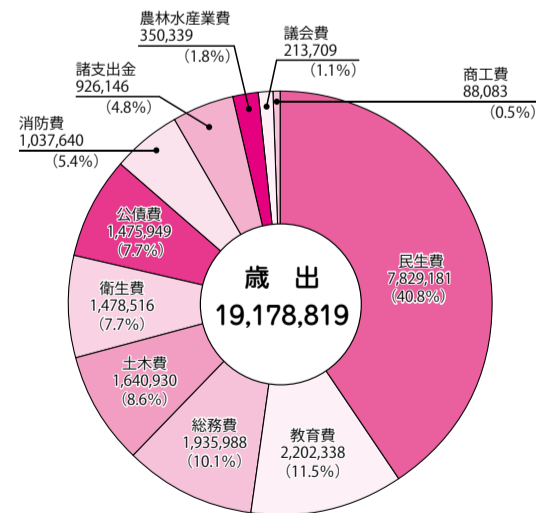
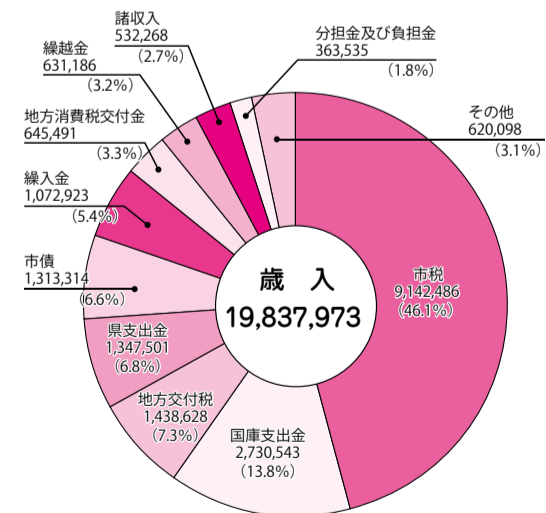
### 平成26年度決算を認定

平成26年度一般会計決算における歳入歳出ともに、前年度比3.2%の増となりました。特別会計決算、水道事業会計決算は下表のとおりとなります。

### 今号の主な内容

- ① 平成26年度決算の概要
- ② 一般会計決算に各会派が討論
- ③ 委員会及び議員提出議案・請願
- ④ 答えて市長！一般質問
- ⑤ 常任委員会の審査から
- ⑥ 審議結果・編集後記
- ⑦
- ⑧

### ●一般会計決算 (単位：千円)



### ●特別会計決算 (単位：千円)

会計別	歳入	歳出
国民健康保険	8,611,450	7,783,676
下水道事業	1,206,341	1,167,222
農業集落排水事業	35,204	33,888
介護保険	3,072,635	2,771,439
後期高齢者医療	421,118	419,092

### ●水道事業会計決算 (単位：千円)

	収入	支出
収益的収入及び支出	1,556,102	1,427,296
資本的収入及び支出	473,726	780,944

\*資本的収入が資本的支出に不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補てん。

市長提出議案

次ページへ続く

市長提出議案

前ページから続き

補正予算を可決

一般会計補正予算は、歳入歳出予算の総額にそれぞれ13億1759万5000円を追加し、歳入歳出予算の総額は、それぞれ219億7212万2000円となりました。

また、平成27年度から28年度を期間とする施政施行20周年記念式典運営支援業務委託事業の債務負担行為が、651万2000円で定められました。

なお、特別会計の補正予算は、下表のとおりとなっています。

●特別会計補正予算 (単位：千円)

会計別	補正額	歳入歳出予算総額
国民健康保険	390,727	9,226,662
下水道事業	48,138	1,332,427
農業集落排水事業	1,217	63,251
介護保険	306,516	3,570,214
後期高齢者医療	1,927	446,339

一般会計補正予算

こんなことに使われます

企画調整事業

328万5000円

市の重要施策の総合調整及び円滑かつ効果的な推進を図るために設置する参与の報酬等を支払うためのものです。

市制施行20周年記念式典運営支援業務委託事業／債務負担行為

651万2000円

市制施行20周年記念式典の会場設営や音響など、式典の運営支援業務を委託するものです。

空家等対策事業

15万9000円

空家等対策に関する施策を推進するために設置する協議会の委員に報酬を支払うものです。

道路維持補修事業

6720万9000円

急を要する道路整備等に対応するものです。



討論

平成26年度一般会計決算に対し、4名の議員が討論を行いました。その概要を討論者が要約してお知らせします。

反対

日本共産党  
吉川市議員団  
佐藤 清治

賛成

自民・みらい  
安田 真也

賛成

公明党  
吉川市議員団  
五十嵐恵千子

賛成

市民改革クラブ  
稲垣 茂行

消費税の8%への増税によつて水道料金などで市民は1億4330万1千円の負担増となった。

市独自に市民生活を守る対策をとるべきだったが実施しなかった。

一般会計決算は多くの市民要望に答えていない中、6億2747万2千円も使い残した。

「行革」の中で一律カットされた、家賃補助、料金が引き上げられた配食サービス、無料化の年令が引き上げられた温水プールの料金を元にもどしていくことが必要です。

第2給食センターの調理業務の民営化、身近な道路維持・補修・道路改良事業は市民要望に十分応えていません。

用排水路整備も要望件数124件の中で未着手の件数は50件を数えるものとなっている。こうした点を指摘し決算の認定には反対といたします。

先日の台風18号の影響により、吉川市においても道路冠水や、中川の水位が「氾濫危険水位」を超える状況があり、改めて災害への備えの重要性を痛感いたします。平成26年度は、地域防災計画の改定、防災マップの作成や災害用便槽の整備、市内保育所において、災害時用の備品や備蓄物資の充実が図られ、災害への備えを計画的に取り組んでいると評価いたします。

子育て環境の整備についても、「子ども・子育て支援事業計画」の策定、認可保育所整備費の補助や、中1ギャップ対策、27年4月から全小中学校に特別支援学級が設置されるよう準備をいただきました。

また、シティプロモーション事業の事業化や、公共施設等総合管理計画の策定や新たな道路整備、既存の生活道路や農業用排水路の補修及び整備に取り組んでいただきました。

市民が誇れるような市政運営をお願いし、賛成といたします。

平成26年度、当市においては、国の動向に注視するとともに、貴重な財源を市民生活の向上につなげるために、適切に補正予算を計上し、対応した1年であったと認識しています。

注目すべき点としては、今年4月にオープンした民間の認可保育所建設費の補助、保護者支援のための講座開催、子育て応援専用サイトの構築、学校施設の耐震化完了、防災用資機材や備蓄物資の計画的な整備、災害図上訓練の実施、情報提供ツールの啓発と水害に備えたタムライン(事前防災行動計画)の構築に関しては、今後一層力を入れ取り組まれることを期待します。照度の高いLED防犯灯の導入、生活道路や農業用排水路の整備など、市民生活の向上に直結する取り組みが数多くあり、前向きな姿勢が感じられる予算執行であったと評価します。

今後もこれまでの経緯を踏まえながら、様々な課題に取り組まれることを期待し、賛成討論とします。

東日本大震災から4年半が経過しました。避難者は未だ19万9千人を数え、仮設住宅等には、13万5千人が生活しています。

安倍政権は、『デフレからの脱却』を目指した戦略を柱に、政権運営を進めてきました。

また今年5月、『安全保障関連法案』を国会へ提出し、現在参議院で審議されています。

26年度は、第5次総合振興計画の重点テーマに沿った、事業の進展が見られました。

防災・減災では、地域防災計画と防災マップの見直しやポンプ場の設備更新、吉川小学校体育館の耐震化が図られました。

保育幼稚園課が新設され、「子ども子育て支援事業計画」を策定。高齢者福祉では、「第6期介護保険事業計画」を策定。その他事業についても、一定の前進が見られたと考えます。

市には、『実効性のある効率的な行政運営』と『開かれた市政の実現』を求め、26年度決算に同意し、賛成討論と致します。

### 市長提出議案 ——前ページから続き

#### 人事案件

#### ◆固定資産評価審査委員会 委員

9月16日をもって任期満了となる戸井田均氏が、再度、選任されました。

#### 委員会提出議案

#### 吉川市議会会議規則の一部を改正する規則

本案は、議会運営委員会が提案し、可決となりました。

#### 改正内容

男女共同参画を考慮した議会活動を促進するため、本会議および委員会への欠席に、出席のため出席できない場合を追加するものです。

本規則は、公布の日から施行します。



#### 議員提出議案

#### 意見書

今定例会では、3件を上程し、いずれも可決、内閣総理大臣等へ送付しました。(一部抜粋)

#### 地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書

将来にわたる「人口減少問題の克服」と「成長力の確保」実現には、総合戦略の政策パッケージを拡充強化し、「地方創生の深化」への取組みが必要である。

政府は6月30日、平成28年度予算に盛り込む地方創生関連施策の指針となる「まち・ひと・しごと創生基本方針2015」を閣議決定した。

今後は、全国の自治体が平成27年度中に「地方版総合戦略」の策定を推進するとともに、国はその戦略に基づく、地域発の取り組みを支援するため、地方財政措置における「まち・ひと・しごと創生事業費」や平成28年度に創設される新型交付金など、今後5年間の継続的な支援とその財源確保を行うことが重要となる。

そこで、国に対し、次の事項を実現するよう強く要請する。

- 1 地方財政措置における「まち・ひと・しごと創生事業費」と各府省の地方創生関連事業・補助金、さらには新型交付金の役割分担を明確にするとともに

必要な財源を確保すること。

他3項目

#### 非核三原則の早期法制化を求める意見書

広島、長崎の原爆被爆から70年が経過。「再び被爆者をつくるな」という原爆被害者の願いをはじめとして、わが国の「非核三原則」を国是とする、核兵器反対の政策は、世界中の国々と国民を動かし、今、核兵器廃絶をめざす潮流は更に、その流れを強めている。

核兵器を使用した、唯一の国、アメリカのオバマ大統領が「核兵器のない世界」を追求していることを表明している。

今こそ日本は、世界で唯一の原子爆弾の被爆国として核兵器廃絶の主導的役割を果たすべきであり、国会および政府においては、被爆国日本として、世界の諸国・諸国民からかけられている期待の大きさをふまえ、「非核三原則」の法制化の決断を早期にされることを強く要請する。

#### TPP交渉において国会決議の遵守を求める意見書

TPP(環太平洋経済連携協定)交渉は、例外なき関税撤廃を前提としているだけでなく、米国基準の規制・制度を押しつけられる危険性の高い交渉であり、農業に限らず日本の社会システムを崩壊させる危惧があるため、強い懸念が表明されてきたところである。

政府からは未だに交渉内容についての十分な情報が開示されず、なし崩しの譲歩が行われるのではないかと不安が高まっている。

2013年の衆議院及び参議院の農林水産委員会において、「米、麦、牛肉・豚肉、乳製品、甘味資源作物などの農林水産物の重要品目を除外又は再協議の対象とする」と決議したことは、「聖域なき関税撤廃が前提でない」と確認した上で交渉に参加した経過からも極めて重い約束であり、交渉にあたっては、「TPP協定交渉参加」に関する決議を遵守し、次の事項が実現されるよう強く要請する。

- 1 米、麦、牛肉・豚肉、乳製品、甘味資源作物など、我が国農業における重要品目については、関税撤廃の対象から除外すること。

他3項目

#### ●地方創生特別委員会

「吉川市総合戦略」の策定に向けた調査研究を行う「地方創生特別委員会」を設置しました。

委員は、次の8名です。

- 委員長 安田 真也  
副委員長 小野 潔  
委員 加藤 克明  
中村 喜一  
齋藤 詔治  
佐藤 清治  
遠藤 義法  
稲垣 茂行

#### 請願

今定例会では、1件の請願が提出され、審査の結果、不採択となりました。(一部抜粋)

#### 安全保障関連法案(「平和安全法制整備法案」と「国際平和と支援法案」)に関する請願

請願者 よしかわ憲法サロン

- 代表 高橋洋子  
稲垣 茂行  
稲葉 剛治  
小林 昭子

昨年7月1日、憲法解釈変更による集団的自衛権行使容認の閣議決定が行われました。そして今国会で、法案が審議され、7月15日衆議院特別委員会で強行採決。翌日衆議院を通過し、現在、参議院で審議中です。難解で複雑な内容であるにも関わらず、国会・国民への説明は不十分で、国民の理解と支持は未だ得られていません。憲法違反の疑いが大きく、世論調査でも「今国会での成立に反対」が6割を超えています。「慎重審議と、今国会での、採決を行わないことを求める」意見書を吉川市議会から、国会に提出するよう請願致します。

#### ◆ご意見・ご感想を お寄せください◆

議会だよりをご覧になったご意見・ご感想をお待ちしています。

〒342-18501 吉川市吉川二丁目1番地1  
吉川市役所 議会事務局  
TEL&FAX (982) 9421

#### 吉川市議会

検索

#### ホームページ

#### ぜひ、ご覧ください！

意見書の全文は市のホームページでご覧いただけます。本会議の会議録や議会活動なども掲載しています。ぜひ、ご覧ください。





## 答えて市長！

# 一般質問

今定例会では、18名の議員が市政全般にわたり、市の見解をた  
だしました。その主な内容を質問者が要約してお知らせします。  
詳細は会議録をご覧ください。

会議録はホームページや市立図書館で閲覧できますが、今定例  
会の会議録の提供は12月上旬となる予定です。

## まちづくり、政治が身近 に感じられる吉川市に！

稲葉 剛治

〔問〕 投票率向上に向けた今後の  
方向性について

〔答〕市長 今後は選挙管理委員会  
の効果的な取組みに期待すると  
共に市としても積極的に支援を  
していきたい。

〔問〕 「選挙」、「まちづくり」に  
触れる事が出来るような出前講  
座等を実施してはどうか。

〔答〕副市長 意識の改革を進める  
活動が大事、十分に研究、検討  
していきたい。

〔問〕 主権者教育の充実、中小学  
生を対象にしたプログラムを扱  
う専門団体と連携を進めては。

〔答〕教育長 国や社会の問題を自  
ら考え、解決する為主権者教育  
が重要になってくると考えてい  
る。小中学校においては、発達  
段階があり、人権、道徳教育に  
関わる部分の取組みを進めてい  
く事が重要だと認識している。

## ◆AEDの屋外設置を

〔問〕 AEDを24時間何時でも使  
用出来るよう屋外設置を。

〔答〕健康福祉部長 現在は屋内設

置のみで、施設が休みの場合に  
使用できない状況である為、今  
後検討していく。

## 高齢化社会に向けて 公園に健康遊具を

中嶋 通治

〔問〕 日本の健康寿命は男性で  
71・11歳、女性で75・56歳になり  
世界最大の健康寿命の国になっ  
ている。また、市内では健康を

守る為に、ラジオ体操や、ふれあ  
いサロン等々が行われています。  
健康寿命を更に延長する為の方  
策として公園に健康遊具を設置  
したら如何か、お伺いします。

〔答〕都市建設部長 現在予定はな  
いが有効であり、新たな公園や  
見直しをしていく中で検討する。

## ◆スーパーマルサンについて

〔問〕 当該店舗は市内で雇用を促  
進し、「災害時における防災活  
動協力に関する協定書」を締結  
しているが、周辺住民の改善要  
望に対してその後の取り組みの  
状況は。

〔答〕市民生活部長 これまでの店  
舗側との協議の結果、搬入車両  
の待機スペースの確保、夜間の

搬入場所の移動、通路の段差解  
消を店舗側として対策を講じて  
いる。臭気に対しても脱臭装置  
を設置したとの事です。今後も  
引き続き、騒音等の測定結果や  
近隣住民の声を踏まえ、店舗側  
と対応策を協議します。

## (仮称)第四中学校建設 について

安田 真也

〔問〕 中学校建設に向けてのスケ  
ジュールと財政の見直しは。

〔答〕市長 平成28年度に基本設計、  
平成29年度に実施設計、平成30  
年度、31年度で建設工事を行い、  
平成32年度の開校を目指して進  
めたいと考えている。また、財  
政の見直しについては、国庫補  
助金を活用するなど、財政負担  
の軽減に努めてまいりたいと考  
えている。

## ◆学校建設や複合化にはコンセ プトを

〔問〕 理想の中学校像、どのよう  
な中学校が必要か。複合化で、ど  
のような効果を期待するのか。ど  
のような施設が必要とされてい  
るのか。等々を、市民のワーク

ショップ等で議論してはどうか。  
〔答〕市長 市長キャラバンでいた  
だいた意見を踏まえ、今後、基  
本計画を策定する中で「中学校  
のコンセプトや理想像」、「複合  
化を図るべき施設」について素  
案を示しながら、ご提案のワー  
クショップ等により、市民から  
ご意見を聞く機会を設けていく。

## 市は、『マルサン』に対し 強力な指導と対応を！

稲垣 茂行

〔問〕 住民の『生活環境の保持』  
の為、市環境条例に基づく勧告・  
命令を出すべきでは。また、道  
路占用条件書に基づく措置は。

〔答〕市民生活部長 騒音の規制値  
を未だ超えているが、これまで  
市の指導に従い、夜間搬入場所  
の変更や駐車スペース確保等、  
騒音軽減に取り組んできていたこ  
とから、指導継続していきたい。

〔答〕都市建設部長 占用許可は、  
道路法32条により許可をした。  
「通路」とする考え方は、間違  
いではなかったが、道路法施行  
令第10条の解釈に、一部誤りが  
あった。大変申し訳ない。  
新たな手続きが必要となる為、

設置者と協議していきたい。  
〔問〕 市の誤った判断で、住民は  
一年間苦しんでいる。抜本的改  
善も、真摯な話し合いもなく、法  
令順守の姿勢も見られない。こ  
の難しい相手をどう考えるのか。  
〔答〕市長 市にだけだけ貢献して  
いるかと、市民が困っているこ  
とを量りに掛ける気はない。一  
人一人の気持ちと生活を考え、  
同時に市全体にもプラスとなる  
方向性を考え、共存共栄出来る  
よう精査・活動していきたい。

## 地下鉄8号線の 導入について

野口 博

〔問〕 吉川市の勤労者始め都内等  
を通勤する市民のあしの確保と  
して地下鉄8号線の導入は市民  
の願いであります。市におかれ  
ましてはどの様な運動を展開し  
てゆくのか市の取り組みをお聞  
かせください。

〔答〕市長 地下鉄8号線の整備に  
関する国の動向と致しましては、  
平成12年に国土交通省の諮問機  
関であった、運輸政策審議会  
第18号答申が出され、そこでは  
亀有から野田市間が、平成27年  
までに整備着手が適当であると  
いう路線に位置付けられました。  
また、現答申の目標年次が近づ  
いていることから、国は、平成  
26年4月に交通政策審議会へ  
「東京圏における今後の都市鉄  
道のあり方について」諮問して  
おり、平成27年度中に審議会答

申が取りまとめられる予定です。  
このため、平成27年度は、より  
一層力を入れての要望活動の展  
開をしていきます。

## 公園周辺など安全性向上へ グリーンベルト設置を検討

降旗 聡

〔問〕 「生活道路の安全性向上に  
ついて」①小・中学校と公園周  
辺のグリーンベルト設置につい  
て。②水路総延長における歩行  
者専用通路の割合と、今後の整  
備計画について。

〔答〕市民生活部長 グリーンベル  
トは、歩道が設置できない道路  
において、歩行者空間を確保す  
る手段として即効性のある安全  
対策です。なまの里公園西側  
は公園利用者の安全性などが  
ら、グリーンベルト設置を検討  
します。ほのぼの公園西側につ  
いては、公園利用者の安全配慮  
と、大型車進入防止の視覚的な  
効果を高めるため、外側線（白  
線）の設置を検討します。

また、北谷小学校南側につい  
ては、外側線を補修します。  
〔答〕都市建設部長 平成27年3月  
末時点での市街化区域内の水路  
総延長は、およそ9・4km。  
そのうち、歩行者の通行が可能  
なのは、およそ7・0kmです。  
現在、整備計画はありません  
が、水路改修などを行う際に、  
歩行者が通行できるよう検討し  
ていきます。

また、北谷小学校南側につ  
いては、外側線を補修します。  
〔答〕都市建設部長 平成27年3月  
末時点での市街化区域内の水路  
総延長は、およそ9・4km。  
そのうち、歩行者の通行が可能  
なのは、およそ7・0kmです。  
現在、整備計画はありません  
が、水路改修などを行う際に、  
歩行者が通行できるよう検討し  
ていきます。

また、北谷小学校南側につ  
いては、外側線を補修します。  
〔答〕都市建設部長 平成27年3月  
末時点での市街化区域内の水路  
総延長は、およそ9・4km。  
そのうち、歩行者の通行が可能  
なのは、およそ7・0kmです。  
現在、整備計画はありません  
が、水路改修などを行う際に、  
歩行者が通行できるよう検討し  
ていきます。

また、北谷小学校南側につ  
いては、外側線を補修します。  
〔答〕都市建設部長 平成27年3月  
末時点での市街化区域内の水路  
総延長は、およそ9・4km。  
そのうち、歩行者の通行が可能  
なのは、およそ7・0kmです。  
現在、整備計画はありません  
が、水路改修などを行う際に、  
歩行者が通行できるよう検討し  
ていきます。

また、北谷小学校南側につ  
いては、外側線を補修します。  
〔答〕都市建設部長 平成27年3月  
末時点での市街化区域内の水路  
総延長は、およそ9・4km。  
そのうち、歩行者の通行が可能  
なのは、およそ7・0kmです。  
現在、整備計画はありません  
が、水路改修などを行う際に、  
歩行者が通行できるよう検討し  
ていきます。

また、北谷小学校南側につ  
いては、外側線を補修します。  
〔答〕都市建設部長 平成27年3月  
末時点での市街化区域内の水路  
総延長は、およそ9・4km。  
そのうち、歩行者の通行が可能  
なのは、およそ7・0kmです。  
現在、整備計画はありません  
が、水路改修などを行う際に、  
歩行者が通行できるよう検討し  
ていきます。

また、北谷小学校南側につ  
いては、外側線を補修します。  
〔答〕都市建設部長 平成27年3月  
末時点での市街化区域内の水路  
総延長は、およそ9・4km。  
そのうち、歩行者の通行が可能  
なのは、およそ7・0kmです。  
現在、整備計画はありません  
が、水路改修などを行う際に、  
歩行者が通行できるよう検討し  
ていきます。

また、北谷小学校南側につ  
いては、外側線を補修します。  
〔答〕都市建設部長 平成27年3月  
末時点での市街化区域内の水路  
総延長は、およそ9・4km。  
そのうち、歩行者の通行が可能  
なのは、およそ7・0kmです。  
現在、整備計画はありません  
が、水路改修などを行う際に、  
歩行者が通行できるよう検討し  
ていきます。

また、北谷小学校南側につ  
いては、外側線を補修します。  
〔答〕都市建設部長 平成27年3月  
末時点での市街化区域内の水路  
総延長は、およそ9・4km。  
そのうち、歩行者の通行が可能  
なのは、およそ7・0kmです。  
現在、整備計画はありません  
が、水路改修などを行う際に、  
歩行者が通行できるよう検討し  
ていきます。



### 地方分権に吉川市は、 どのように取り組む考えか

中村 喜一

問 吉川市内から人口を生み出す事業とはどのようなものか。

答 市長 美南駅周辺整備では、宅地開発中心の流入人口を目指す開発でなく、幸福を実感できるまちづくりに取り組むので、知名度の向上や市民がまちに誇りを持ち、結婚、出産、子育てのサポートにより人口増に繋がる。



問 農地内に虫食い開発された資材置場等から、農業用水路に排水が流される例が増えている。用水整備の財源確保を目的に、地方独自に課税する施策も可能であり、有効な施策と思うが。

答 市民生活部長 独自課税などは難しい。国、県の補助金の活用にも努める。

◆総合戦略策定の進捗と課題  
問 三輪野江地域に進行中の墓地開発は、計画の土地利用構想に反する動きであり、環境への

配慮が必要と思うが、条例の見直しや行政指導の方針は。

答 市民生活部長 行政指導は任意的なものだが、周辺住民の意見に対し、宗教法人が見解書で示した取り組みを確実に行うように求めた。

### 「障がい者千人雇用」事業に学び、 障がい者就労支援の推進を

互 金次郎

問 公明党吉川市議団では総社市の「障がい者千人雇用」を視察調査しました。平成23年4月時点180人の障がい者雇用実績が、今年8月の視察時には885人と増加しました。当市も商工会と協定を結び、企業向けセミナーや意向調査を検討しては。またライフステージに応じた支援も必要では。

答 健康福祉部長 他の部署、機関との連携も検討し企業向け情報発信に努めます。グループホーム充実も取組みます。

問 総社市では「障がい者千人雇用推進条例」が事業推進の力となりました。社会的に困難を抱える方々の希望となっており。当市も条例化等を検討しては。

答 市長 ここで条例化等については答えられないが、提案をきちつと検討し進めたい。

◆振り込め詐欺対策の強化を  
問 予防録音装置等のハード面も含め対策強化の検討を。

答 市民生活部長 吉川警察署と連携し高齢者・市民に対し、一層の注意喚起に努めます。

### 近未来型広報紙へ 「広報よしかわ」の改革を

五十嵐 恵千子

問 住民が「統治される側」から「自ら社会参画し統治する主体」へ意識がシフトされるような近未来型広報紙へ質的転換を遂げる必要があると考えます。

答 市長 市民意識調査の結果から若い世代の方に読んでいただける対策が必要と認識している。今後は、市民のニーズに合わせた内容を掲載するとともに、若い世代の方を意識し「i広報紙」の実現に向け取組みたい。

◆在宅医療・介護連携の推進と在宅介護対応薬局認定事業を  
問 今後の取組みについて。

答 健康福祉部長 課題は、医療と介護の連携体制の更なる構築と、往診体制の充実が挙げられ、今後は国から示された8つの具体的な取組みを着実に進める。また、薬剤師を含む多職種関係者会議を立ち上げ検討する。

◆高齢者肺炎球菌ワクチン定期接種者に対して再通知を  
答 健康福祉部長 調査・研究。

### 国連推奨のESD(持続可能な 開発のための教育)の取組みを

小野 潔

問 ESDとは環境、平和、人権、国際理解、多文化共生、防災などを身近なところから取り組み学ぶ、学校区を一地域として公民館を中心に行政、市民、市民団体、企業、NPO等様々な団体がネットワークで活動し、地域の絆、信頼を築く。市長提案の市民団体応援基金、地区担当官はこのESDを理念、基軸として考えてはいかか。

答 市長 柱を作って協働のまちづくりを努めて参る。

◆中曽根公園・中曽根グラウンドに駐車場の整備を  
答 都市建設部長 検討をする。

◆市長キャラバンの総括について  
問 庁舎建設の第一義は人命、けが人を出さない防災拠点だ。8200㎡前後を確保し、免振構造で人命を守れ。

答 市長 安かろう悪かろうではなくしっかりと防犯拠点に。  
問 新中学校はミニ劇場、ミニ音楽堂等文化施設の複合化を。  
答 教育部長 検討して参る。

### どの子どもも健やかに 成長できる施策を

遠藤 義法

問 子どもの貧困が社会問題となつています。行政が現状を把握、一つひとつの事業をしっかりと実施すべきではないか。

答 健康福祉部長 妊娠届時の聞き取り調査や児童扶養手当支給時にアンケートをとるなど現状を把握し、関係部署で認識を一致させ対応しております。

◆市の財政見直しと新庁舎建設は  
問 市民サービスと防災の拠点である新庁舎建設費の削減は限界があり、安かろう悪かろうは問題。削減額の見直しは。財政健全化の指標から見ても仮称第4中学校建設や新庁舎建設後も財政的には問題ないと考えます。美南駅東口整備の事業費179億円のうち、市の負担分が49億円というのは高すぎないか。

答 市長 市の財政は健全であると言えます。市庁舎建設費をどこまで削減できるか構造含め検討している現状です。東口整備の市費は少なればその方がよいが、街として価値を高めていく必要があり、バランスをとることが大事です。

### 三輪野江地区「産業まちづくり ゾーン」と遅れた環境整備

小林 昭子

問 「産業まちづくりゾーン」について市長と地区の懇談会が持たれたが今後はどうするのか。当地区は、昭和44年〜平成16年までは土地区画整理事業の対象地区として、平成18年からは地区計画「産業まちづくりゾーン」として位置づけられる一方、環境整備は遅れたまま。

今後は「都市計画道路三郷松伏線」の完成や美南駅東口開発の後に、身近な生活道路、水路等の整備を先延ばしする事なく進めていただきたい。

答 市長 懇談会は早い段階で2回目を持つ予定です。開発計画を市民と作っていく中で、同時に市民の身近な問題にもきちつと市として取り組んでいく。

◆道路白線の全域調査と改修  
問 進捗状況と今後の見直しは。  
答 市民生活部長 平成26年11月に調査。12月から平成27年8月までの進捗状況は276カ所中37カ所、39路線中2路線を実施。今年度末に概ね110カ所15路線の補修を見込んでいます。平成29年度終了を目安とし早期完了を目指す。

## 答えて市長！一般質問

次ページへ続く

## 新庁舎建設事業の進捗状況

山崎 勝他

問 新庁舎建設事業の早期実現を。キャラバンの結果、市民意見の最大集約は図られたか。

答市長 庁舎の位置に関するのと、免震構造から耐震構造への変更、建築面積、延べ床面積の削減、ガラスを減らし、シンプルなデザインとすることや、民間施設の活用など、約400件にわたる意見、提案をいただいた。建築基準法や総合耐震計画などに準じているか、精査を行っている。今後は、構造や規模等の再検討や具体的な方針を決定し、スピード感をもって庁舎建設事業を進めてまいりたい。

### ◆道路行政、橋梁など

問 ①市道1-2-14号線、整備促進を。②市道1-3-73号



市長キャラバンのようす

線起点、橋梁の長寿命化と幅員拡張を。

答都市建設部長 ①地権者の協力が得られるよう努めてまいります。②防護柵の腐食やコンクリート部のひび割れなどを確認しており、順次、修繕を行ってまいります。幅員拡張については、地元のニーズや接続する道路の状況などを踏まえ、研究してまいります。

## 積極的平和へ、何が必要か

高野 昇

問 戦後70年にあたって安倍首相談話が出された。この談話についての市長の評価は。

答市長 日本は唯一の被爆国として、世界平和が何たるかを一番に伝えるべき役割を持つてい。同時に国民の命・財産を守ってゆく責任があり、現在の中国の状況、この前のパレードを見て、きちんと日本としてとるべき立場がある。そうしたものを踏まえての首相、今の日本の流れと考える。

### ◆市長の政治信条は

問 過去の日本の侵略戦争を「アジア解放の正義の戦争」として美化する団体「日本会議」の地方議員連盟に、中原恵人の名前が掲載され発表されている。

市長の政治信条は。

答市長 「日本会議」は、県会議員のために、様々な観点から勉強するために入らせていただき、様々な資料を取り寄せながら、いろいろ勉強している。日本が唯一の被爆国として、平和・核の廃絶を訴えた中で、リーダーシップをとってゆくの

## 吉川消防署、救急隊員への暴力事件に係わる吉川市側の関与

齋藤 詔治

問 救急隊員暴力事件の、被害届、取り下げに関する市職員の対応・関与を具体的に公表を。

答政策室長 市は関与しておりませんので、述べる立場に無いものと考えております。問 私は、根拠があるから、申し上げています。どの様な調査をしたのか、お答えください。答政策室長 私共職員に対して一切調査をしておりません。問 役所の中には、懸命にこれを守ろうとする人と実態を解明したい人が困窮している。この状況では真の行政運営は果たせない。このような隠蔽事件は無かつた事には出来ない。市民の話では「加害者と言われる本人より『アレは造られた話で私は一切関係無い。長生きしたければ無かつた事』と脅かされ逃

をめざす。28年度基本設計を策定する中で施設内容については検討したい。

答都市建設部長 東口開発は今回公園の集約と配置の変更など見直した。総事業費は概算179億円。市負担49億円。47%減歩で保留地処分金は105億円。

## 小中学校のエアコン設置は遅らせるべきではない

佐藤 清治

問 日本共産党市議団の予算要望書には設置にむけ検討していくと回答していた。

答市長 エアコン設置の見直しについて伺います。答市長 設置の必要性は認識しております。エアコンの設置にとどまらず、全体を視野に入れた上で進める。問 この問題に関しては、6月議会でも予算要望書に回答した通りでございますと答弁している。今の市長答弁では、これまでの答弁より後退している。答市長 エアコン設置の必要性は十分認識している。全体を見ながら判断していく。

### ◆国保の問題改善を

問 国保税は引き下げをすべきではないか。答健康福祉部長 国民健康保険税の引き下げは困難と考えております。問 加入者である子どもから均

等割3万3000円を徴収するのは問題ではないか。答健康福祉部長 国の動向を十分注視してまいります。

## 医師会除名の2医療機関が訴えた最高裁判決を受けて

加藤 克明

問 平成27年6月26日最高裁が除名をした2医療機関の「会員除名が正当」という地域・高裁の判断を維持する決定が下り、医師会の正当性が確定した。地域包括ケアシステムの構築など喫緊の課題も山積しており、これを機に市長が関係修復に向けて動いてみてはいかがでしょうか。答市長 当事者間で解決すべきと捉えている。市民の利便性を考え保健事業を実施していく。問 平成25年6月議会で前市長から事態収拾に向け「一日でも早くすることを私も努力する」と答弁。そんな矢先に除名された医療機関から市を相手取り「民事調停事件」申立てが起これ、市までもが「紛争事件」の当事者となり関係修復の足かせとなった。今回、医師会HPで情報で解決の糸口が出された訳ですから、双方の話を伺って、解決への橋渡しすべきと考えます。答市長 市民の利便性を第一に考える。医師会も目指す所は同じと認識している。当事者間で解決して頂き、その先は共に進んでいければと考えている。

答市長 新中学校は32年度開校

げた。その後本人はテーブルを叩き騒いだ。会場には議員もいた。」と聞いている。此処で、質問の再調査を要望。市ぐるみとは申しませんが、職員の関与は明白と確信いたします。一日も早くこの事件を克服し、職員が一つになり、素晴らしい家族にと願望し終わります。

## 21世紀のシンボルとなる新庁舎を

伊藤 正勝

問 新庁舎について。経費の削減には異論ないが、そのためにも思い切った発想の転換が必要。例えば市議会の本会議場は市民との共用スペースと位置づける。コンパクトで開かれた庁舎。見映えも大切。21世紀の庁舎像を全国へ発信してほしい。答市長 庁舎が吉川のシンボルであるべきかとはとも角、行政サービス、防災の拠点としての役割を果たし、どう創り上げるか。理念が定まれば自ずと全国に発信できる施設になると思う。様々な市民意見を踏まえ、早期に具体的方針を示したい。

問 新中学校も地域に開く21世紀型へと期待。東口開発は民間の知恵や「市税は投入しない」方向など経営の視点を大事にしてほしい。

答市長 新中学校は32年度開校

# 常任委員会の審査から

議案や請願は詳細に審査するため、担当常任委員会に委ねられ、専門的に審査されます。  
 主な審査内容を各常任委員長が要約してお知らせします。

## 総務水道常任委員会

◆平成26年度一般会計決算  
 企画費について。シティプロモーションの事業評価で、民間事業者を活用した相乗効果が期待できるとあるが、どういふことか。  
 平成26年度からシティプロモーション自治体等連絡協議会に加盟しているが、観光やIT関係の民間事業者も参加しているため、プロモーションの手法等について民間事業者の活用を検討しているところである。税の公賦課徴収費について。

平性の確保から徴収強化を行っているが、納付困難な人もいる。平成26年度の差押え実績は、  
 収納率は毎年上昇しているが、差押えの強化を行っていない。納付困難な人は分割納付してもらっており、毎年人数は増えている。納税意思の低い滞納者を対象に、平成26年度は433件の差押えを執行した。

賛成多数で認定

◆手数料条例の一部を改正する条例  
 マイナンバー（個人番号）の紛失により、個人番号を変更することが可能か。

悪用される恐れがある場合は変更可能である。また、24時間対応のコールセンターに連絡することや警察、市役所への届出をすることも可能。これら対応についても、周知していきたい。

賛成多数で可決

◆特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例  
 これまでも県職員が人事異動で来ているが、異動でやらないのはなぜか。

県へ働きかけたのではなく、市長から配置したいという提案であった。また、想定する方が元県職員だったため。

賛成全員で可決

## 文教福祉常任委員会

◆学校給食センター整備運営事業契約の変更契約の締結について  
 物価上昇分として約8000万円であったものが、約4500万円となった理由は、  
 物価上昇分だけであれば、約8700万円の増加となっている。事業者の協力を得て設計の一部見直し約3400万円のコストダウンを図った。

賛成全員で可決

◆平成27年度一般会計補正予算  
 学校施設整備事業の中学校工

事請負費の内容は。また小中学校の教室などにLED照明を使用する考えは。中央中のハンドボールコートに面するフェンスの嵩上げ工事、LEDは光の特性上、照らす範囲が狭いため、今のところ使用する考えはない。

可否同数、委員長採決で可決

◆平成26年度一般会計決算  
 生活支援ショートステイ委託料の執行率がゼロである理由は、この事業は、介護認定申請の結果、非該当になった方でも何らか、心身に不安があるだろうと一般会計からショートステイの利用を促すもの。また虐待からの緊急避難としても利用でき

る。26年度は利用がなかった。

生活保護の相談件数が259件、申請件数が76件となっているが内容を伺う。また43件の廃止理由を伺う。

相談から申請に至らなかった件は、生活保護制度を説明した結果理解のうえ申請に至らなかったものが主である。また廃止理由は、死亡が13件、失踪が4件、世帯の収入の増加によるものが9件、扶養義務者のもとへ移転5件、年金の受給等他の制度の活用によるものが2件、転出が5件、いずれにも分類されないものが3件。

可否同数、委員長採決で認定

## 建設生活常任委員会

◆空家等対策協議会条例  
 協議会条例で適正管理ができるのか。

対策計画、特定空家を検討していく。

賛成全員で可決

◆自転車駐車場条例の一部を改正する条例  
 賛成全員で可決

賛成全員で可決

◆共保雨水ポンプ場電気設備工事契約の締結について  
 賛成全員で可決

賛成全員で可決

◆平成26年度一般会計決算  
 太陽光発電促進事業で、屋根

貸し事業の実績が0件の理由。売電価格の低下等、利益を得る事が難しく事業化に至らなかった。

中川河川改修に伴い道路を整備したが一部冠水した。国に申し入れをしたのか。地区全体を検証し、今回の冠水の状況と今後の対策について国と協議していく。

賛成多数で認定

◆平成26年度下水道事業特別会計決算  
 賛成全員で認定

賛成多数で認定

◆平成26年度農業集落排水事業特別会計決算  
 賛成全員で認定

賛成多数で可決

◆平成27年度一般会計補正予算  
 住宅改修費補助金の概要と実施時期は。工事費20万円以上のリフォーム工事に対し10万円を限度に工事費の10%を補助。10月予定。

賛成多数で可決

◆平成27年度下水道事業特別会計補正予算  
 賛成全員で可決

賛成多数で可決

◆平成27年度農業集落排水事業特別会計補正予算  
 賛成全員で可決

賛成多数で可決

## 議会を傍聴しませんか？ 次定例会の予定

市の重要な施策や皆さんに身近な問題が審議されます。お気軽にお越しください。

11月27日（金）	本会議【開会日】
12月1日（火）	本会議【議案審議】
12月2日（水）	委員会【総務水道・文教福祉】
12月3日（木）	委員会【建設生活】
12月4日（金）	委員会【請願審査】
12月8日（火）	本会議【委員長報告】
12月9日（水）	本会議【一般質問】
12月10日（木）	本会議【一般質問】
12月11日（金）	本会議【一般質問・閉会日】

本会議は午前10時、委員会は午前9時30分に開会します。



# 9月定例会 審議結果

## 《市長提出議案》

○=賛成、×=反対、議=議長（議決には加わりません。）、◎=議案提出者、—=退席

議案名	議決結果	自民・みらい						共産				公明		改革		しみん党				
		加藤克明	野口博	中村喜一	安田真也	中嶋通治	山崎勝他	松崎誠	佐藤清治	高野昇	遠藤義法	小林昭子	互金次郎	五十嵐恵千子	小野潔	稲垣茂行	伊藤正勝	稲葉剛治	降旗聡	齋藤詔治
吉川市行政手続条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市空家等対策協議会条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市手数料条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市情報公開条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市個人情報保護条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市自転車駐車場条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例及び吉川市職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
共保雨水ポンプ場電気設備工事（H27自家発更新）契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市学校給食センター整備運営事業契約の変更契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度吉川市一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度吉川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度吉川市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度吉川市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度吉川市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度吉川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度吉川市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度吉川市一般会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度吉川市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度吉川市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度吉川市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度吉川市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度吉川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 《委員会提出議案》

吉川市議会会議規則の一部を改正する規則	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
---------------------	------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

## 《議員提出議案》

地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○
非核三原則の早期法制化を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
T P P 交渉において国会決議の遵守を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 《請願》

安全保障関連法案（『平和安全法制整備法案』と『国際平和支援法案』）に関する請願	不採択	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×
---	-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

\*会派名の「共産」は「日本共産党吉川市議員団」、「公明」は「公明党吉川市議団」、「改革」は「市民改革クラブ」の略です。

### 編集後記

9月10日の夜半、台風18号等の豪雨は、総雨量290ミリに、中川の水位が「はん濫危険水位」を超える。午前4時20分、4地区を対象に避難勧告発令。眠れぬ夜を過ごした方も多かったのでは。

常総市では鬼怒川の堤防が決壊し甚大な被害が発生。「特別警報」「線状降水帯」等過去の経験値を超える現象も。

時として自然災害は、人間の予想を超えます。市民の生命と財産を守ることは、行政と議会が共有する最優先の命題です。

「大切なのは将来と将来に対する責任」との社会学者マックス・ウェーバーの言葉を改めて胸に刻みたい。 互 金次郎

### 表紙の写真



読書の秋にちなみ、吉川地域の歴史を綴った「吉川市史通史編1」をご紹介します。

本書は、原始・古代・中世・近世に渡る歴史を最新の史料をもとに編集されています。

表紙の撮影に協力してくれた古川大鷹さん（南中学校2年）は、「歴史では鎌倉時代が好き。その頃の吉川市はどんな感じだったのかな。」妹の茉莉さん（中曾根小学校4年）も「私も学校で吉川市の歴史を習ったよ。」と2人とも興味津々の様子でした。

深まる秋のひと時、吉川市の歴史に触れてみませんか。

本書は、市立図書館で読むことができます。ほか、吉川市教育委員会の窓口で3000円で購入できます。